

## プログラムの概要

団体名称	代表団体: 有限会社人の森 協力団体: なし
実施規模	<input type="checkbox"/> 地域限定のプログラム: 1,000 万円未満 / 3 年以内に完了するもの <input checked="" type="checkbox"/> 全国展開のプログラム: 1,500 万円未満 / 3 年以内に完了するもの
実施期間	2019 年 11 月 ~ 2022 年 11 月 (3 年 0 か月間)
実施場所	オンライン (※当初会場型とオンラインの両方を予定していたが、新型コロナウイルスの状況を鑑み全日程をオンライン講座での開催とした)
タイトル	地域住民の自立と経済的発展を目的としたコミュニティ開発のためにアウトプットと費用対効果の向上をめざした NGO スキルアップ研修
目的	本プログラムは、国際協力プロジェクトに従事する人材がコミュニティ住民の活動の持続性を高めるため、地域住民の基礎力強化のためのキャパシティビルディングと、地域資源を市場志向で活用するための基礎知識とノウハウを学ぶ。また、NGO 等の限られた人的資源を使って費用対効果を最大化することを目指し、NGO 等職員のプロジェクト形成、ドナーへの提案や報告能力の向上を目指す。
概要	研修プログラムは、1 講座 10 日間分の講義を 1 セットとする。前半はコミュニティの社会経済開発の基本などを学ぶ「基礎編」とする。後半はビジネスの基本や住民が取り組むビジネスモデルの構築手法などを実践的に学ぶ「応用編」とする。その後 1 日間のフォローアップセッションにより、講座の内容を実践に移す際の問題点などをシェアし、さらに効果を高める工夫を行う。
受講対象者及び定員	コミュニティ開発や関連分野の活動を行う NGO 等の職員や海外協力隊、今後同分野の勤務や NGO の立ち上げを考える人など、潜在的人材を含め対象とする。各回 20 名程度、10 セットの講座で延べ 200 名程度を想定している。
到達目標	短期レベル目標 (個人レベル) 1: コミュニティ住民が活動を受け入れ、持続的に継続していくための社会的・経済的なインセンティブや阻害要因を理解する。社会的弱者を含んだコミュニティ全体が裨益することの重要性を認識する。開発協力プロジェクトを阻害している社会的要因を、計画時点で洗い出すことの重要性を認識する。 2: 受講者が一村一品や、PRRIE などアプローチの背景を理解し、計画時に考慮すべき事業環境の不確実性分析や、リスク対処の能力を身につける。 3: 受講者がマーケティングや流通・商品開発等コミュニティ構成員が裨益するビジネスに関する基礎知識を身につけ、効率よく精度の高い商品開発指導や、バリューチェーンの構築などに注意を払うことができるようになる。 中長期レベル目標 (団体・活動レベル) 4: 到達目標 1 から 3 を踏まえて、自らの団体が今後行うであろうコミュニティ開発などに関するプロジェクトの質的・量的な改善を実現する。 5: JICA などのドナーに対してコミュニティ開発などのプロジェクト支援を依頼する場合 (草の根支援など) に、提案内容の向上のみならず、プロポーザルや報告書の向上を図り、ドナーと NGO とのコミュニケーションがスムーズになる。
到達目標を測る指標	短期レベルの指標 各講座最終日に行うプロジェクト改善ワークショップで、問題を多く含んだ架空のプロジェクトの改善案を参加者に提示していただき、その内容をあらかじめ準備する指標を用いて 5 段階評価することによって各参加者の到達度を測る。 中長期レベルの指標 プログラム終了直前に行うアンケートにおいて、受講者が各団体の中で、講座の内容をどれくらい活かしているか、活用の具体例や活用方法、また活かすために障害となっているものは何か、などのアンケートを実施し、あらかじめ準備する指標を用いて講座の活用レベルの 5 段階評価を行う。